

香里ヶ丘図書館建替え基本計画

平成29年3月
枚方市教育委員会

目次

はじめに

第1章 香里ヶ丘図書館の現状と課題	1
(1) 香里ヶ丘図書館の現状	1
① 立地	1
② 沿革	1
③ 敷地・施設面積	2
④ 施設概要	2
⑤ 各図書館分館の閲覧スペース及び統計数値	3
(2) 香里ヶ丘図書館をめぐる課題	3
① 施設面の課題	3
② 図書館サービスに係る課題	4
③ 香里ヶ丘地域の魅力アップに寄与するための課題	7
④ 民間ノウハウを活用した魅力的かつ効果的・効率的な運営	8
第2章 香里ヶ丘図書館の建替えと今後のサービス提供に係る基本的な考え方	9
(1) 施設整備の考え方	9
① 方式	9
② 建替えの概要	9
③ 期間	9
(2) 新たな香里ヶ丘図書館の収蔵能力	10
(3) 新たな香里ヶ丘図書館のコンセプト	10
第3章 香里ヶ丘図書館の建替え計画	11
(1) 新たな香里ヶ丘図書館のコンセプトの施設・サービスへの反映	11
(2) 施設・敷地に付与する機能	13
(参考1) 予定	14
(参考2) 他計画との関連性	14

はじめに

昭和 48 年 7 月、枚方における最初の図書館分室の一つとして、本市は香里ヶ丘分室を日本住宅公団（現 都市再生機構（UR））の香里団地事務所の 3 階に開室しました。そして、翌年の昭和 49 年 11 月、現在の地に移転し、香里ヶ丘図書館として開館しました。その後、昭和 54 年に増築を行って、自動車文庫「ひなぎく号」の基地としての役割も担うようになり、平成 17 年に開館した中央図書館に同基地機能が移るまで、その役割を担いました。

図書館分館の中で、香里ヶ丘図書館は貸出冊数 1 位の楠葉図書館に次ぐ約 42 万冊（平成 27 年度）の貸出を行うなど、枚方市の南部地域における図書館サービスの拠点として、現在に至るまで地域に根ざした図書館サービスを提供し続けています。

そして現在、子どもが主体的に生きる力を身に付けるため、未来を担う子どもの読書活動への支援が求められており、香里ヶ丘図書館をはじめ、市立図書館が果たすべき役割は以前にも増して大きくなっています。また、高齢化の進行に伴う自由な時間を有する市民の増加や、地域社会の結びつきの希薄化に伴う地域の高齢者や小さな子どもを抱えた親子の孤立化等に対応するため、市民の居場所としての図書館機能も注目されています。

さらにまちの再生事業が進行する香里ヶ丘地域は、これからも子育て世代を中心とする新たな市民の流入が期待できます。これらの市民に定住していただき、持続可能な枚方市を維持していくためには、市民にとって魅力的な施設が必要です。香里ヶ丘図書館は、図書館サービスの提供とともに、香里ヶ丘地域の魅力を支える施設の一つとしても機能していくことが期待されており、地域全体の発展に寄与できる、香里ヶ丘地域になくてはならない施設です。

しかし、香里ヶ丘図書館は、開館からすでに 42 年が経過しました。施設の老朽化が進行しており、周辺商業施設が再整備されたこともあって、その老朽化した外観が目立つようになりました。需要の多さに反し、他の分館と比較して閲覧室が狭隘で、バリアフリー化も遅れているなど、様々な課題を抱えています。

そこで、市南部地域の図書館サービスの拠点であり、香里ヶ丘地域におけるまちの魅力を支える施設の一つである香里ヶ丘図書館については、さまざまな課題を解決するだけでなく、さらに魅力的で市民に喜ばれる図書館サービスを提供するため、建替え事業を進めます。

ここに、市民が住み続けたいと望むまちづくりに寄与することを目指して、「香里ヶ丘図書館建替え基本計画」を取りまとめるものです。

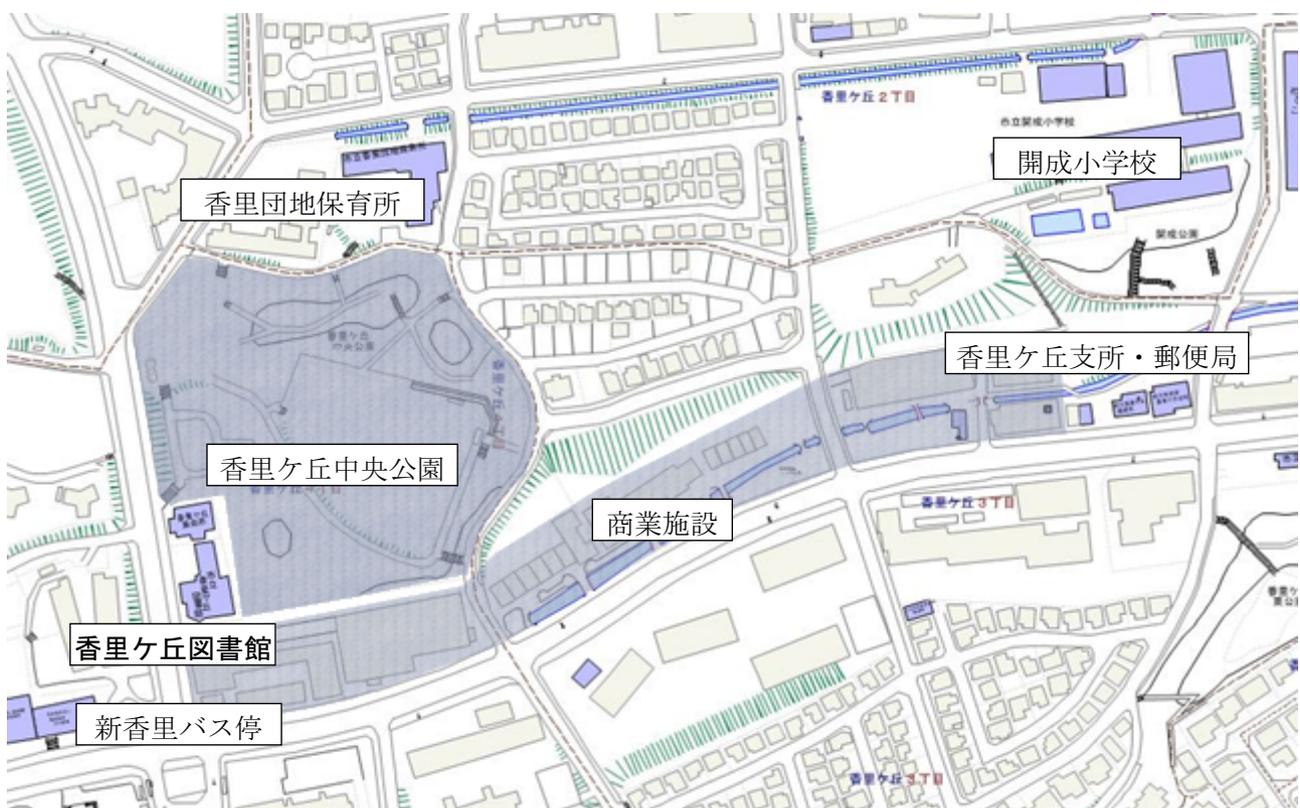
第1章 香里ヶ丘図書館の現状と課題

(1) 香里ヶ丘図書館の現状

①立地

所在地：枚方市香里ヶ丘4丁目2-1

香里ヶ丘図書館は香里団地の中心部にあり、京阪電鉄の3駅（枚方市駅、枚方公園駅、香里園駅）に接続する5路線のバスが乗り入れる新香里バス停に隣接しています。また、周辺は以前から集合住宅や公園のほか、ショッピングセンターや飲食店などの商業施設や香里ヶ丘支所、郵便局などが集まる、香里団地をはじめとする周辺住民の多くが利用する一帯となっている場所であり、さらに住宅地などの再整備が進み、まち全体のリニューアルが進行中です。



周辺地域図

②沿革

年月	歴史
昭和48年7月	枚方市最初の図書館分室の一つとして香里ヶ丘分室（香里ヶ丘3丁目 [当時の日本住宅公団事務所3階 約60㎡]）を開設
昭和49年11月	日本住宅公団（現、都市再生機構（UR））の土地を借り受け、現在の場所に新築移転し、香里ヶ丘図書館として開館
昭和54年5月	増築を行って閲覧室を拡大し、自動車文庫基地を香里ヶ丘図書館に移転

平成 5 年 8 月	図書館棟の北側部分（日本住宅公団（現、都市再生機構（UR）の土地）に別棟の集会室棟を増築し、地域の人々の集会施設として共用を開始
平成 15 年 12 月	南部市民センター開設に伴い、市民一般に向けて部屋を貸し出す図書館集会室としての機能は停止したが、地元地域の要望を受け、市民活動課を窓口に関元の集会所として貸出を再開（建物の所管は教育委員会・図書館のまま）
平成 17 年 4 月	中央図書館開館に伴い、自動車文庫の基地機能を中央図書館に移転

③敷地・施設面積

(単位：㎡)

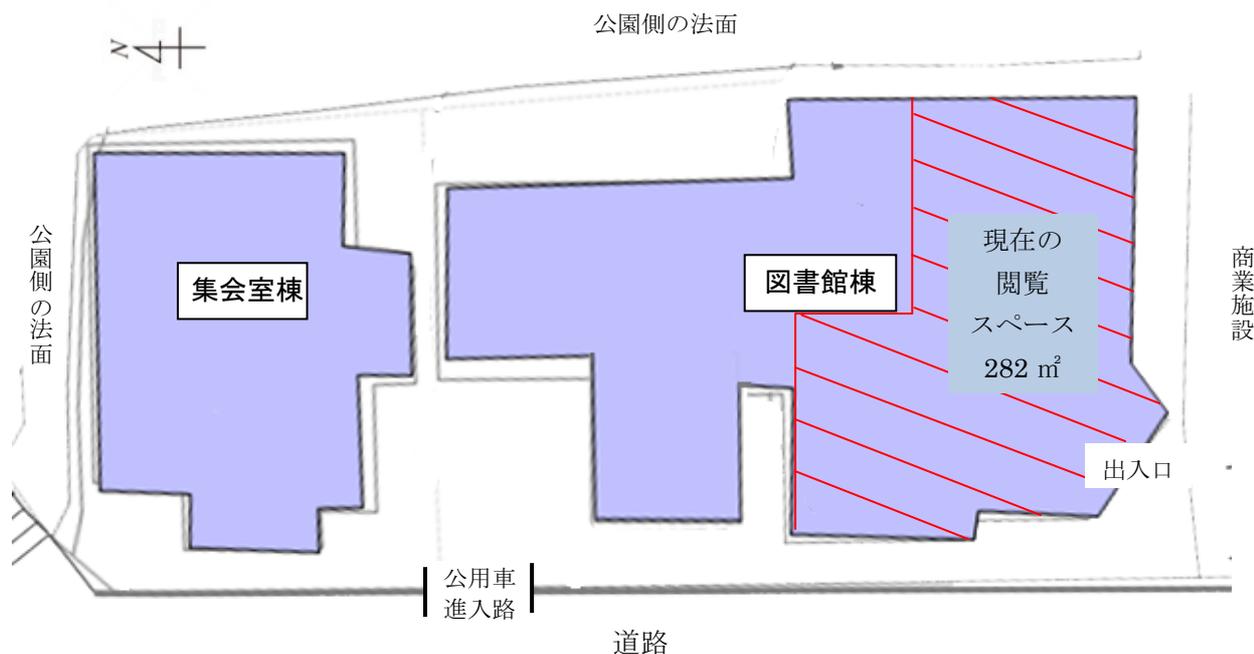
項目	図書館棟	図書館集会室棟 (別棟)	合計
敷地面積	約 1,235	約 588	約 1,823
建築面積	約 682	約 310	約 992
床面積	約 931	約 278	約 1,209

④施設概要

建物の構造・築年数

図書館棟 鉄筋コンクリート造り 2階建て 昭和49年11月建造（築42年）
 集会室棟 軽量鉄骨造 平屋建て 平成5年8月供用開始（築23年）

施設の配置図



⑤各図書館分館の閲覧スペース及び統計数値

項目	香里ヶ丘	楠葉	菅原	蹉跎	御殿山	牧野	津田
閲覧スペース	約 282 m ²	約 473 m ²	約 373 m ²	約 480 m ²	約 429 m ²	約 464 m ²	約 474 m ²
蔵書冊数	93,411 冊	88,338 冊	97,253 冊	90,636 冊	81,983 冊	106,023 冊	96,802 冊
貸出冊数	422,793 冊	473,852 冊	365,202 冊	246,643 冊	172,444 冊	225,254 冊	207,481 冊
閲覧スペースあたり 貸出冊数(冊/m ²)	1,499 冊	1,002 冊	979 冊	514 冊	402 冊	485 冊	438 冊
延利用人数	135,960 人	164,099 人	121,343 人	87,214 人	53,663 人	74,020 人	60,189 人

(注) 統計数値は平成 27 年度実績 (概算)

(2) 香里ヶ丘図書館をめぐる課題

①施設面の課題

a. 施設の老朽化

香里ヶ丘図書館の図書館棟の耐震診断結果については、耐震性能は満足していますが、昭和49年の建設からすでに42年が経過し、屋上の防水や建具等の経年劣化が進行しています。また、トイレからのニオイが閲覧室に漏れるなど、根本的な施設改善が求められています。

さらに集会室棟は、現在の南部生涯学習市民センター開館までの利用を想定して建設された施設でもあり、経年劣化が著しく、老朽化が進行しています。



腐食が進む窓枠



汚れが目立つ壁面



雨漏りが原因で落下した天井



雨漏りによりカビが発生した天井

b. バリアフリー化の遅れ

図書館棟は、バリアフリーに係る基準が高くない時期に建設されたため、車いすでスロープを使って建物入口まで到達することは可能ですが、出入口の幅が狭く、2階があるにも関わらず、エレベーターがありません。また、開架図書の冊数を確保するため、書架間隔を狭く設定していることにより、車いすが通り抜けることが困難であるなど、建物の構造にかかわる課題があります。



書架間隔が狭く見通しの悪い閲覧室



間隔が狭い正面入口の通路



階段が2階に上がる唯一の手段

c. 狭隘な閲覧スペース

香里ヶ丘図書館は、図書館分館の中で2番目に多い貸出実績にもかかわらず、閲覧室が狭く、常に開架室やカウンター周りが混雑しており、図書等を閲覧するスペースの確保に支障があります。また、集会室と閲覧室が離れており、現在は中央図書館に移った自動車文庫の基地機能（車庫スペース）が残されているなど、敷地の有効活用や利用者の動線に配慮した施設機能配置の点で課題があります。



現在は使われなくなった旧自動車文庫基地が現存しており、敷地が有効に活用されていない

②図書館サービスに係る課題

a. 南部地域における拠点図書館にふさわしいサービス・施設機能の提供

香里ヶ丘図書館は、香里ヶ丘地域(*1)の中心地に立地し、商業施設と市民のスポーツや憩いの場である香里ヶ丘中央公園とも隣接しており、これからの香里ヶ丘地域のまちとしての魅力を高めていく上において、不可欠な施設です。香里ヶ丘図書館には乳幼児から高齢者に至るすべての市民に幅広い情報を提供・発信し、市民の知識・教養を高め、レクリエーションに資するなど、市民の生涯学習を支援し、人と人の出会いやつながりを創出する役割が求められています。

また香里ヶ丘図書館は、図書館分館の中で楠葉図書館に次いで2番目に多い貸出実績があり、南部地域(*2)の広範囲からの利用がある拠点図書館であることから、それだけの需要を満たし、今後もその役割を果たすにふさわしい規模・機能を持った施設であることが求められています。

(*1)香里ヶ丘地域・・・本計画では、香里ヶ丘図書館の登録者中、概ね各町丁の人口比5%以上の登録のある地域を表す、香里ヶ丘図書館や隣接商業施設、新香里バス停を中心とした半径1.5キロメートルの地域をさす

(*2)南部地域・・・市南部には、図書館が香里ヶ丘と蹊陀の2館、分室が村野、釈尊寺、茄子作、東香里、香里園の5分室あり、各施設の主要な利用圏域全体をさす

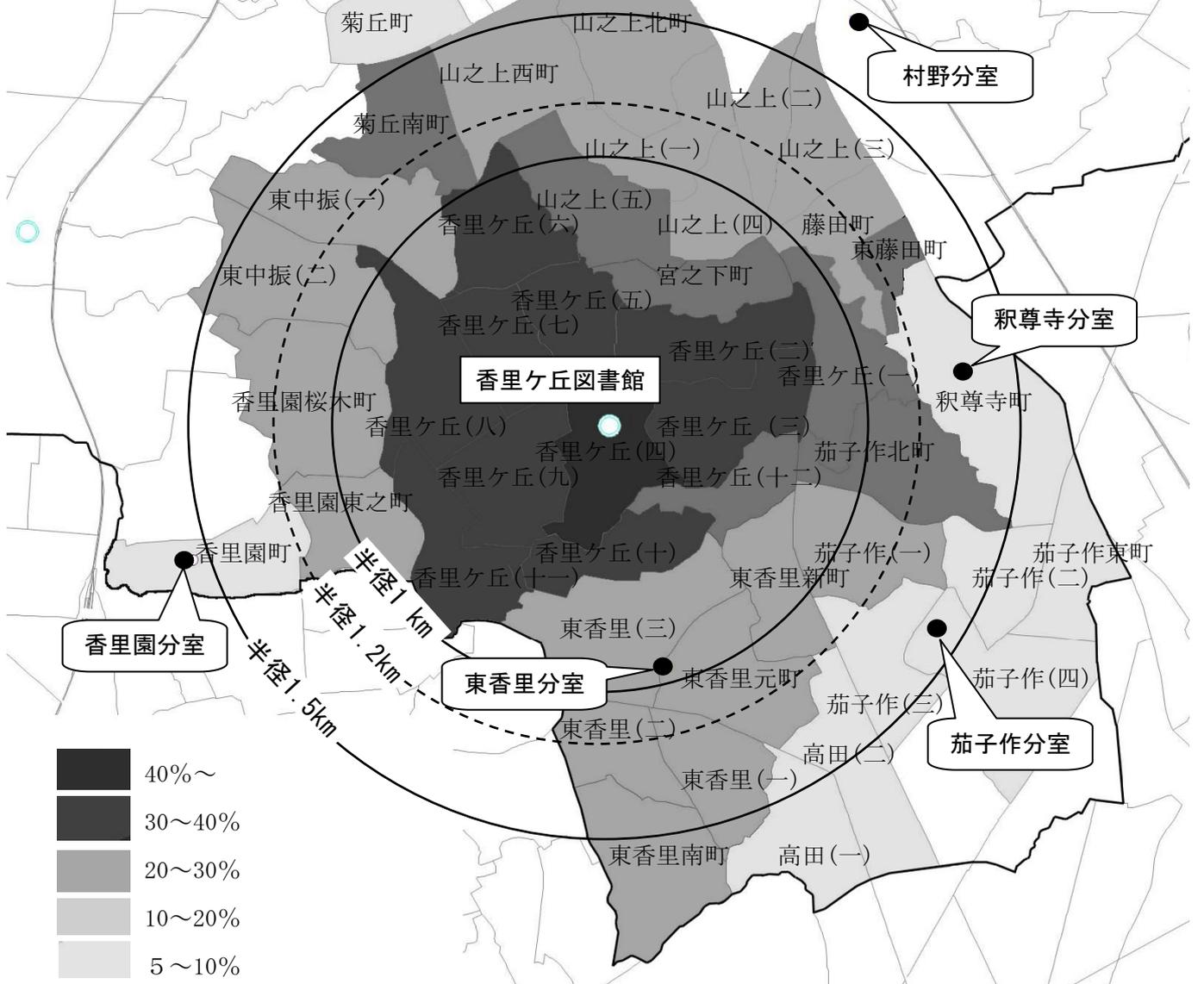
香里ヶ丘図書館の各町丁別登録率

住所	登録者数	人口	登録率	住所	登録者数	人口	登録率
香里ヶ丘4丁目	548	1,268	43.2%	香里園桜木町	339	2,141	15.8%
香里ヶ丘2丁目	1,361	3,422	39.8%	山之上3丁目	91	623	14.6%
香里ヶ丘9丁目	833	2,174	38.3%	山之上4丁目	70	480	14.6%
香里ヶ丘5丁目	241	637	37.8%	東香里南町	199	1,436	13.9%
香里ヶ丘7丁目	634	1,752	36.2%	東香里元町	298	2,201	13.5%
香里ヶ丘3丁目	925	2,567	36.0%	山之上1丁目	181	1,410	12.8%
香里ヶ丘8丁目	742	2,165	34.3%	山之上2丁目	96	756	12.7%
香里ヶ丘10丁目	297	884	33.6%	東香里1丁目	135	1,114	12.1%
香里ヶ丘6丁目	369	1,119	33.0%	東中振2丁目	287	2,411	11.9%
香里ヶ丘11丁目	275	905	30.4%	山之上北町	298	2,704	11.0%
香里ヶ丘12丁目	347	1,204	28.8%	東香里2丁目	98	915	10.7%
菊丘南町	136	512	26.6%	東中振1丁	374	3,527	10.6%
山之上5丁目	430	1,791	24.0%	茄子作3丁目	160	1,716	9.3%
宮之下町	275	1,196	23.0%	菊丘町	91	989	9.2%
茄子作北町	601	2,702	22.2%	茄子作2丁目	84	1,059	7.9%
香里ヶ丘1丁目	331	1,558	21.2%	釈尊寺町	204	2,607	7.8%
東藤田町	46	226	20.4%	高田2丁目	90	1,202	7.5%
東香里3丁目	327	1,700	19.2%	高田1丁目	53	730	7.3%
山之上西町	280	1,498	18.7%	茄子作4丁目	170	2,522	6.7%
東香里新町	258	1,419	18.2%	茄子作東町	62	1,025	6.0%
藤田町	191	1,098	17.4%	香里園町	86	1,543	5.6%
香里園東之町	231	1,362	17.0%	上記地域登録者数	13,542	68,727	19.7%
茄子作1丁目	398	2,457	16.2%	全登録者数	15,426		

(注) 上記は登録率5%以上の町丁の登録者を対象とした。登録者数は平成28年7月現在。人口は平成28年6月現在がベース。上記各町丁の住民の最寄の図書館が香里ヶ丘図書館であり、香里ヶ丘図書館を中心とした概ね半径1.5kmの地域にあたる

**登録分布図
(町丁別登録率)**

香里ヶ丘図書館を中心とする半径 1km の地域が概ね登録率 20% 以上の主要な香里ヶ丘図書館利用地域であり、建替え等新たなサービスを進める事で、主要な利用地域の半径は 1.5km となると考える（従来の分館の想定利用地域は半径 1.2km）。



(注) 上記は登録率 5%以上の町丁の登録者を対象とした。登録者数は平成 28 年 7 月 6 日現在。人口は平成 28 年 6 月 1 日現在がベース

b. 高齢者をはじめとする地域住民のための居場所機能の提供

超高齢社会の到来による自由な時間を有する高齢者の増加、地域のつながりの希薄化に伴う高齢者や小さな子どもを抱えた親子等の孤立化など、市民を取り巻く状況は常に変化しており、それは香里ヶ丘地域も例外ではありません。少子高齢化傾向は、今後も続く予想されており、その社会状況を踏まえ、これからの図書館は、貸出中心のサービスから、利用者が長時間くつろいで過ごすことができ、また、人と人の出会いやつながりを生み出す、市民の居場所機能も兼ね備えた場となることが求められています。

(年齢別登録率)

[香里ヶ丘図書館の60歳以上の登録者が占める割合は約27%]

地区	～6歳	～12歳	～15歳	～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
香里ヶ丘図書館 登録者構成比(注)	3.0%	11.5%	6.7%	6.8%	7.9%	10.2%	17.3%	9.7%	12.2%	10.4%	4.3%
全図書館 登録者構成比	2.8%	9.8%	6.0%	6.5%	10.0%	12.9%	18.0%	9.7%	12.1%	9.2%	3.0%
全市民の 人口構成比	5.7%	5.6%	3.0%	4.2%	9.7%	11.8%	16.0%	11.7%	14.5%	11.6%	6.2%

(注) 香里ヶ丘図書館全登録者のうち、各町丁の人口比5%以上の地域の登録者を対象とした（登録者はH28.7、人口はH28.6の数値をベースに算出した）

c. 子育て・若者世代の役に立つ身近な悩み・問題の解決や学習の支援機能の強化

高度情報化社会の進行等に伴う、急激に変化する社会状況に市民が適応していくためには、常に新しい知識や技術を身につけていくことが求められます。これからの図書館は、市民に求められる資料や情報を提供するだけでなく、市民が抱える身近な悩みや問題を自ら解決するための支援として、資料・情報の提供、レファレンス(*3)体制の整備を行うとともに、求めの有無に関わらず、積極的に資料・情報や学習機会の提供を行っていくことが求められています。

特に香里ヶ丘地域は、再整備が進む中で、今後子育て・若者世代の定住が期待できる地域であり、香里ヶ丘図書館においては、この世代をターゲットとした、環境整備と子ども読書活動を推進する事業などのサービス提供を積極的に進めていくことが必要です。

(*3)レファレンス・・・調べ物相談のこと

③香里ヶ丘地域の魅力アップに寄与するための課題

a. 緑の公園や周辺地域と一体感があり、地域全体の活性化に寄与する図書館

香里団地を中心とするこの地域は、計画的に整備された地域で、街路樹や広い歩道があり、緑に恵まれた地域です。

香里ヶ丘図書館は、香里ヶ丘中央公園と新香里バス停前の商業施設に隣接しており、商業施設が再整備された中で、緑多い公園や並木にとけこみ、周辺施設とも美観上の統一感のある図書館の建設が求められています。さらに、この新たな香里ヶ丘図書館の建設が、地域全体の活性化につながることも期待されています。

また、隣接する香里ヶ丘中央公園でも、現在再整備が検討されており、ここで実施されるスポーツ・健康づくり等に資する施策ともタイアップした事業を進め、まち全体の魅力アップに貢献することが求められています。

b. 香里ヶ丘地域の歴史を後世に伝える地域資料の収集・提供

香里ヶ丘地域の住宅街は、東京第二陸軍造兵廠香里製造所の跡地に生まれました。

その中心となった香里団地は、かつて東洋一のマンモス団地と呼ばれ、枚方市がベッドタウンとして発展するきっかけとなりました。

また、知識人を中心とした香里ヶ丘文化会議を発足させ、枚方市の文化・教育の発信地とされてきました。さらに子育て世代の大量入居を契機として、住民運動により全国初となる行政によるゼロ歳児保育を実現するなど、特徴的な歴史を持っています。

さらに、この地域は、家庭文庫活動が熱心に行われていた地域で、地域の小中学校とも連携して子ども読書活動の推進に努めてきた成果として、子どもの読書意欲が高い地域となっています。

そのような地域性もあり、本館機能を有する市民会館内の旧枚方図書館に次いで、市内最初の分館として、香里ヶ丘図書館が開設されました。

地域資料の収集・提供をその任務の一つとする図書館は、これら香里ヶ丘地域における地域資料も収集・提供し、後世に伝えていく必要があります。

c. IT 機器等を活用した情報提供環境の充実

IT 機器等の発展と日常生活への定着状況等を踏まえ、これからの図書館は、Wi-Fi 環境の整備等、現代の市民のライフスタイルに合わせた多様なサービスを提供することが求められています。

④民間ノウハウを活用した魅力的かつ効果的・効率的な運営

a. 設計における民間ノウハウの活用

建替える香里ヶ丘図書館は、香里ヶ丘地域の活性化にも寄与する地域のランドマークとなるような魅力的な外観と室内空間を有し、隣接する公園や周辺地域と一体感があることや環境にも配慮した施設であることが求められます。

そこで、その設計にあたっては、民間の豊富な実績と優れたアイデアを活かす方法を採用することが必要です。

b. 室内空間の活用及び図書館運営における民間ノウハウの活用

限られた室内スペースの中で、利用しやすく魅力的な図書館空間を作り上げるためには、従来の固定化された図書館イメージにとらわれることなく、全国で運営されるさまざまなタイプの図書館実例からノウハウを学びながら、さらに斬新なアイデアを加味して、他にはない新しい図書館空間を作り出す能力が求められます。

この課題の解決にあたっては、図書館の空間活用に関して、斬新なアイデアの提供が期待できる民間事業者が持つノウハウの活用が必要です。

そこで、香里ヶ丘図書館の建替えにあたっては、利用者の動線・使いやすさ等に配慮した書架やカウンター、利用者のための机・イス等の選定・配置についても、民間のアイデアの活用を視野に、十分な準備期間を確保して、設計段階で盛り込んでいくことが必要です。

また、開館後の香里ヶ丘図書館におけるサービスの向上と効果的・効率的な図書館運営を実現するためには、指定管理者制度の導入が有効です。

第2章 香里ヶ丘図書館の建替えと今後のサービス提供に係る基本的な考え方

第1章で明らかにした香里ヶ丘図書館をめぐる課題を解決するため、以下の基本的な考え方に基づき、施設整備と図書館サービスを行います。

(1) 施設整備の考え方

①方式

以下の理由から、香里ヶ丘図書館については建替えを行います。

- a. 香里ヶ丘地域に住み始めた子育て世代やこれからも同地域に住み続けたいと願う市民にまちの魅力をアピールするためには、緑多い公園や並木にとけこみ、周辺施設とも美観上の統一感を演出することが望ましい
- b. 香里ヶ丘地域は、まちの再生事業が進行中で、新たな利用者の増加が見込まれており、それに見合った利用者が快適に利用できる施設が必要
- c. 現形状の施設への部分的な改築や改修工事では、利用者ニーズに合った広い閲覧室の確保や集会室機能の確保、利用者の動線に配慮した各施設機能の配置等を行うことは不可能であり、改修ではなく、建替えがふさわしい
- d. 社会資本整備総合交付金の活用により財源確保を見込んでいる

②建替えの概要

a. 建替え地

香里ヶ丘図書館が現在置かれている枚方市香里ヶ丘4丁目2-1に建替えます。また、現香里ヶ丘図書館用地は、都市再生機構(UR)から図書館設置を目的として借地しており、建替え後も現在の土地賃貸借契約を継続するために必要な手続きを進めます。

b. 敷地面積・床面積

項目	整備計画 (2階建て)	(参考)現在 (図書館棟・集会室棟合計)
敷地面積	約1,823 m ²	約1,823 m ²
床面積	約1,200 m ² (1階920 m ² ・2階280 m ²)	約1,209 m ²

(注) 2階280 m²には、集会機能を有する部屋を設置予定

c. 施設内の面積

機能	床面積(想定)
資料・情報提供機能	560 m ²
集会室機能(多目的室)	210 m ²
管理機能(事務室・書庫・機械室・玄関ロビー・トイレ・階段等)	430 m ²
計	1,200 m ²

③期間

平成31年度中の建設終了、平成32年度早期のオープンを目途に整備を行います。

休館中は南部生涯学習市民センターにて予約図書等の受け渡しを行うとともに、週に1回程度自動車文庫の巡回サービスを実施するなどの代替サービスを行う予定です。

(2) 新たな香里ヶ丘図書館の収蔵能力

新たな香里ヶ丘図書館は、以下のコンセプトに定めるとおり、滞在型図書館、課題解決型図書館をめざし、従来の貸出中心の図書館と比較して、閲覧スペースや自習スペース、子どもと保護者がゆったりくつろげるスペースの拡大に努めることとし、表の収蔵能力の確保を基本として、設計事業者の提案を求め、設計作業の中で検討することとします。

(冊)

	児童書	一般書	合計	うち開架	うち閉架	貸出冊数
現香里ヶ丘図書館 (H27)	32,227	61,124	93,411	60,451	32,960	422,793
	(収蔵能力は計 10 万冊)					
新香里ヶ丘図書館	35,000	65,000	100,000	60,000	40,000	530,000

(3) 新たな香里ヶ丘図書館のコンセプト

香里ヶ丘図書館の建替えと今後の運営については、以下のコンセプトに基づき整備を進めます。整備を進めることで、現在の香里ヶ丘図書館が抱える課題を解決するだけでなく、今まで以上に市民に喜ばれる図書館サービスを提供するとともに、まちの魅力を高め、地域の活性化を図って、本市の定住人口の増加に寄与します。

コンセプト①：南部地域における拠点図書館

コンセプト②：気軽に立ち寄り、ゆったりと過ごせる滞在型図書館

コンセプト③：子育て・若者世代の役に立つ課題解決型図書館

コンセプト④：緑の公園や周辺地域と一体感があり地域の魅力向上に寄与する図書館

コンセプト⑤：民間ノウハウを活用した魅力的で効果的・効率的な図書館

《子育て世代をターゲットとした多様なサービスを展開する他市事例》

【和光市立図書館】

(埼玉県 和光市／朝霞市、戸田市、東京都板橋区・練馬区に隣接し、人口約 81,000 人 [平均年齢 40.5 歳 (H26)] で増加傾向／市内に本田技研工業和光本社・独立行政法人理化学研究所等がある)



和光市は、市民の平均年齢が低く、子育て世代へのサービスに積極的に取り組んでいます。

和光市立図書館では、「すくすく子育て」支援を行っており、赤ちゃんのためのえほんコーナーの設置、「ブックスタート」事業の実施、キッズルームの設置（赤ちゃんタイムあり）、子育てイベントとして、毎月開催する絵本とおはなしの会のほか、英語絵本の読み聞かせ、子どものための読書会（小学生対象）、図書館シネマ（子ども向け）、夏休み宿題教室など、多様な取り組みを実施しています。

本市の香里ヶ丘地域は、再整備が進む中で、新たな子育て世代の定住が期待できる地域であり、和光市立図書館から学ぶことが多くあります。



第3章 香里ヶ丘図書館の建替え計画

(1) 新たな香里ヶ丘図書館のコンセプトの施設・サービスへの反映

コンセプト	施設・サービスへの反映内容	
(コンセプト①) 南部地域における拠点図書館	施設	市内分館の平均以上の閲覧スペースの確保
		授乳室・子ども用トイレ・対面読書室等の設置、バリアフリーと利用者の動線に配慮した施設機能の確保
		図書館や他部署主催のイベントや行政利用時間帯を除く、多目的室の市民への一般貸出（有料化を検討）
	サービス	市内分館の平均以上の収蔵能力の確保
		知の体系や利用者ニーズに配慮した蔵書の構築
		市民の生涯学習を支援する各種イベントの実施
		障害者・高齢者向けサービスの実施
その他図書館蔵書等の貸出及び予約・リクエストサービス等の基礎的なサービス		
利用状況に応じた開館日・開館時間帯の設定		
(コンセプト②) 気軽に立ち寄り、ゆったりと過ごせる滞在型図書館	施設	圧迫感のない低書架を中心とする書架構成
		高齢者をはじめとする、自由な時間を有する市民が、くつろぎながらゆったりと読書や調べもの等ができる空間の創出
		小さな子どもを連れた親子が、周りに気兼ねせず、ゆったりくつろげる児童コーナーの設置
		利用者が持ち込んだPC・タブレット端末等のための電源の提供
	談話コーナーの設置（玄関ホール付近）	
	サービス	図書館に入りやすい、なごやかな雰囲気閲覧室の構築
		ゆったりと読書等を楽しむためのスペースに合わせた机・イスの相当数の配置
新聞・雑誌コーナーの充実 Wi-Fi 環境の整備		
(コンセプト③) 子育て・若者世代の役に立つ課題解決型図書館	施設	資料の閲覧スペースの設置
		相談窓口（レファレンスカウンター）の設置
		インターネット端末等の情報収集機器の設置
		閲覧室はなごやかな雰囲気を醸し出すこととし、図書館に静けさを求める利用者のために、静かな環境で読書・自習等が可能なスペースを別途設置することで、なごやかな雰囲気のスペースと静かで落ち着いたスペースを分離する
		各種講座・講演会等が開催できる多目的室の設置
	サービス	子育て・健康づくり・勉強の悩みなど、市民の身近な問題の解決に役立つ資料・情報の収集・提供
		子ども読書活動の充実 ・充実した児童書の提供 ・多様な子ども向けイベントの実施 等

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

コンセプト	施設・サービスへの反映内容	
<p>(コンセプト③) 子育て・若者世代の役に立つ課題解決型図書館</p>	サービス	<p>子育て支援 ・子育て関連資料の充実 ・子育て関連の講座等の開催 等</p>
		<p>市民の身近な問題に係る特集コーナーの設置</p>
		<p>レファレンスサービスの積極的なPR</p>
		<p>検索性インターネット端末の設置</p>
		<p>図書館活用・情報収集・情報活用講座等の開催</p>
		<p>同じ悩みを抱える人たちが集う講座等の開催、地域人材を活用した講演会等の開催による、子育て・若者世代を含む地域住民が出会い、交流する機会の提供</p>
		<p>多目的室を活用した、子育てや健康づくり等に係る他部署が実施するイベント・講座・説明会等の開催と関連資料・情報等の提供など、他部署との連携による従来の図書館の枠を越えた多様なサービスの提供</p>
<p>(コンセプト④) 緑の公園や周辺地域と一体感があり地域の魅力向上に寄与する図書館</p>	施設	<p>緑多い公園や並木にとけこみ、周辺施設とも美観上の統一感があり、誰もが入館したくなる地域の活性化にも寄与する外観の採用 周辺の緑を生かした各種スペースの配置による、市民がくつろぎながら読書ができる環境の整備</p>
	サービス	<p>地域資料の収集・提供 香里ヶ丘地域の歴史講座等の開催 スポーツ・健康づくりに資する資料の収集・提供 健康づくりに係る講座・講演会等の開催 近隣商業施設との連携事業</p>
	施設	<p>地域のランドマークにふさわしい魅力的な外観・室内空間の設計における民間のアイデアの活用 太陽光パネル（大阪府自然環境保全条例及び同条例施行規則に基づく）の設置のほか、省エネルギーのための各種設備・機器の導入</p>
	サービス	<p>民間ノウハウを活用した図書館空間の提供（利用者の動線や使いやすさに配慮した書架、カウンター、利用者用机・イス等の選定・配置に係る民間のアイデアの活用） 指定管理者による効果的・効率的な運営</p>

(2) 施設・敷地に付与する機能

機能	名称	設備の内容等	床面積 [*1]	
資料・情報 提供機能	一般書開架スペース (地域資料含む)	壁面設置分：高書架 床面設置分：低書架	560 m ²	
	児童書開架スペース	低書架設置		
	雑誌・新聞閲覧スペース	雑誌架・新聞閲覧台・閲覧用椅子		
	カウンタースペース			貸出・返却カウンター
				予約図書等受け渡しカウンター
				相談（レファレンス）窓口カウンター
				カウンターバックに書架
				記載台（カウンター付近）
	情報関連機器等スペース			インターネット端末
				利用者用蔵書検索端末（OPAC） 国立国会図書館データベース検索用端末
	おはなしスペース			子どもと保護者が安全にゆったりとくつろげる仕様とする
対面読書室		防音仕様		
自習等スペース		長机仕様で個人スペース左右に衝立を設置		
資料閲覧スペース		図書館資料を使用した調べ物専用スペース		
軽読書スペース		ゆったりと読書等を楽しむスペース		
集会室機能	多目的室（3室）	講座・講演・集会等を行うスペース	210 m ² [*2]	
管理機能	事務室	スタッフ用事務机・作業机	90 m ²	
		図書館整理用書架		
		更衣室（男・女）		
	書庫	資料保存・集密書架	60 m ²	
設備・機械室		30 m ²		
その他		エレベーター・階段・廊下・トイレ・授乳室・ブックポスト・玄関ロビー（談話スペース設置）・2階事務スペース等	250 m ²	
合計			1,200 m ²	
その他機能	環境保全機能	太陽光パネル（大阪府自然環境保全条例及び同条例施行規則に基づく）の設置のほか、省エネのための各種設備・機器の導入		
	駐輪場機能	図書館利用目的以外の駐輪を排除する機器等の設置		
	駐車場機能	配慮が必要な方の車及び公用車用		

[*1] 面積は計画段階での想定概算面積で、設計段階での変更の可能性があります

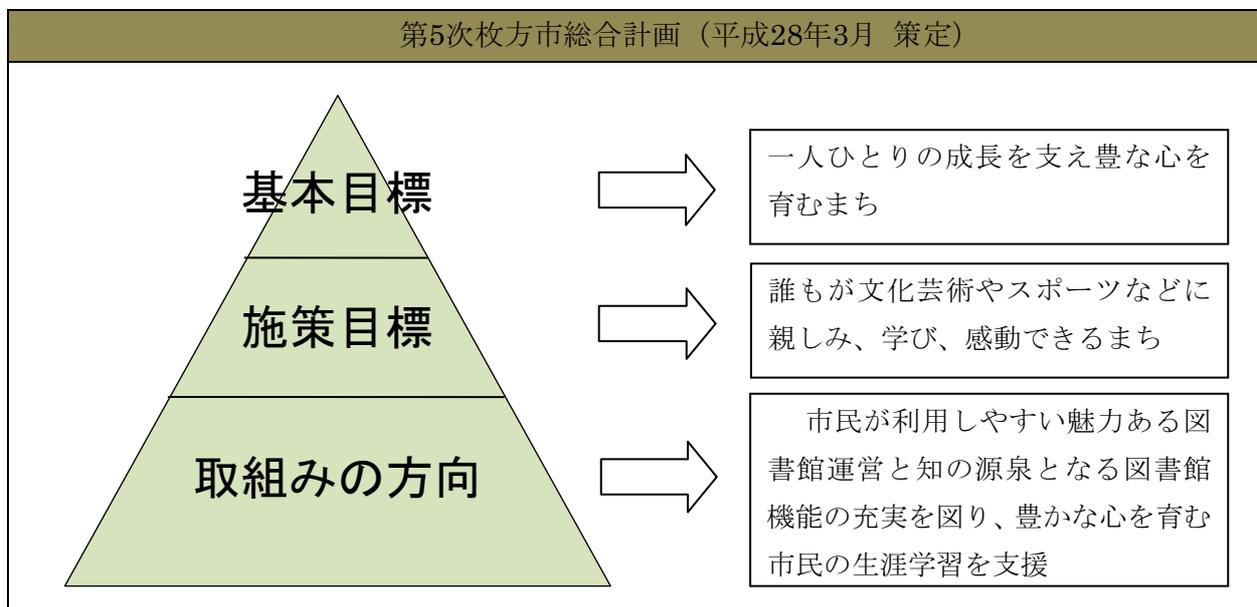
[*2] 多目的室は2階に設置し、2階の床面積は現集会室棟と同じ約280 m²を確保します。*2の数値は2階の廊下、トイレ・事務スペース等の部分を除いた多目的室内の床面積です。

(参考1) 予定

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
教育委員会協議会で報告	2 月	●	●	●	
文教委員協議会で報告	2 月	●	●	●	
市民・地元意見の聴取	— (12 月以降)	— (設計関係)			
国費要望	●	●	●		
予算化	(設計関係) 12 月・3 月	(工事) ●			
設計 (解体・新設)		—————			
閉館準備		● — 閉館	蔵書・備品移動		
既設解体工事			—		
公園法面工事 (公園みどり推進室所管)			—		
新設工事			● 議決	—————	
代替サービス			—————	—————	
開館準備					—
オープン					●

(参考2) 他計画との関連性

①第5次枚方市総合計画



②枚方市教育大綱

枚方市教育大綱（平成28年3月 策定）

方針1 知・徳・体の調和のとれた生きる力を育み、子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育を充実させます。

方針2 子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら、安全に安心して生き生きと学校での生活を送れるよう学びのセーフティネットを構築するとともに、教育環境を充実させます。

方針3 学びの機会の提供や、知の源泉となる図書館の充実、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりなど、人とまちを支える社会教育を推進します。

③枚方市教育振興基本計画

枚方市教育振興基本計画（平成28年6月 策定）

基本方策

基本方策1	確かな学びと自立を育む教育の充実
基本方策2	豊かな心と健やかな体を育む教育の充実
基本方策3	教職員の資質と指導力の向上
基本方策4	「ともに学び、ともに育つ」教育の充実
基本方策5	幼児教育の充実
基本方策6	地域とともにある学校づくりの推進
基本方策7	学びのセーフティネットの構築
基本方策8	学びを支える教育環境の充実
基本方策9	基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実
基本方策10	文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

基本方策9

基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実

「図書館においては、資料の計画的・系統的な収集などの基礎的な図書館サービスを充実するとともに、居心地の良い図書館空間の提供と図書館内外への積極的な情報提供などにより、市民の生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための支援を強化します。」

④枚方市立図書館第3次グランドビジョン

枚方市立図書館第3次グランドビジョン（平成28年3月 策定）

運営方針1

基礎的な図書館サービスを充実します

資料・情報提供機能の充実⇒「求めに応じたレファレンスサービスの充実」等
図書館という空間の魅力向上⇒「滞在型図書館への移行」

運営方針2

家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

課題解決支援⇒「情報活用能力の育成」「社会状況を踏まえたレファレンスサービスの充実」「市民の身近な課題の解決に向けた支援」等

運営方針3

教育的役割を重視した取り組みを推進します

子ども読書活動の推進⇒「読書習慣の育成」「情報活用能力の育成」等

運営方針4

魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

分館の役割⇒「基礎的な図書館サービス提供」
施設の老朽化対策⇒「香里ヶ丘図書館の建替えが必要です」